



平成27年2月号

祇園中学校だより

校訓 「誠実」 「勤労」 「奉仕」

流氷や宗谷の門波荒れやまず となみ 山口誓子

暦の上では大寒、今が1年で最も寒さが厳しい時期です。この寒さを利用して、昔から酒、味噌等の仕込みが行われました。

旧暦では明後日2月4日、立春の頃が一年の始めとされていました。それで、前日の大晦日（2月3日の節分の夜）には豆をまいて一年の邪気を打ち払い、また新しい年を健康に過ごせるよう黒豆を食べる風習が今も続いています。

まだまだ寒いですが、もうすぐ暦の上では春になります。これから椿や梅の花が咲き始め、徐々に暖かくなり、春の始まりとなります。寒い今だからできること、やらなければならないことがあります。日々の努力は暖かい春の芽吹きにつながります。毎日の生活を大切にしたいと思えます。

広島グッドチャレンジ賞受賞 1月9日(金)

本校では、休日に行われる地域の美化活動、小中高連携美化活動、地域行事、募金活動等、多くのボランティア活動に生徒会、学年単位、各部活単位で参加しています。この度、年間を通しての積極的なボランティア活動が評価され、広島グッドチャレンジ賞に祇園中学校が選ばれました。表彰式には学校の代表として埴野さくらさんが出席し、広島市教育委員会の尾形完治教育長から表彰状を受け取りました。

全校生徒のやる気と一生懸命な活動が評価され、今後の活動の励みとなりました。困っている人たちや地域のために対価を求めず、純粋な気持ちで貢献する。その気持ちをこれからも大切にしたいと思えます。

職業人の話を聴く会（職業講話） 1月16日（金）

2年生を対象に職業人の話を聴く会が開催されました。今回は中国新聞社の方に来て頂き、新聞社の業務内容、ご自身の経験談等をわかりやすくお話ししていただきました。生徒たちにとって、自分の目標や進路に対して前向きに考えるよい機会となりました。



今後、講話を通して学んだことを活かし、進路学習のまとめ（新聞づくり）を行います。お忙しい中、講話に協力して頂いた中国新聞社の皆様には、感謝申し上げます。